

～子育てしやすいまちを目指して～

平成31年5月
利用開始予定

東海村病児・病後児保育施設の 整備に向けて準備をしています vol.02

村では、保護者の子育てと就労の両立を支援するため、平成31年度のオープンを目指し「東海村病児・病後児保育施設」の整備を進めています。病児・病後児保育とは、お子さんが、病気または病気回復期で集団保育ができない状態にあり、保護者の勤務の都合などにより家庭での保育ができない場合に、一時的に保護者に代わりお子さんを預かるサービスです。

東海村病児・病後児保育施設の管理運営は、指定管理者である公益社団法人地域医療振興協会が行います。同協会は、村立東海病院の指定管理者でもあるため、病院と連携した運営が図れます。今回は、施設の利用の流れやお子さんの1日の過ごし方などについてご紹介します。

【問い合わせ】子育て支援課計画推進・施設担当(☎282-1711 内線1183)

施設での1日の過ごし方(イメージ)

午前8時	受け付け・保育時間開始 ※持ち物やお薬の確認をします。 検温・観察
午前9時30分	おやつ・遊び・静養
午前11時30分	昼食・与薬
午後1時	お昼寝・静養
午後3時	検温・観察 おやつ・遊び・静養
午後5時	お迎え ※保育士・看護師が、お子さんの様子や家でのケアなどについてお話をします。
午後6時	保育時間終了 ※お迎えは午後6時までにお願いします。



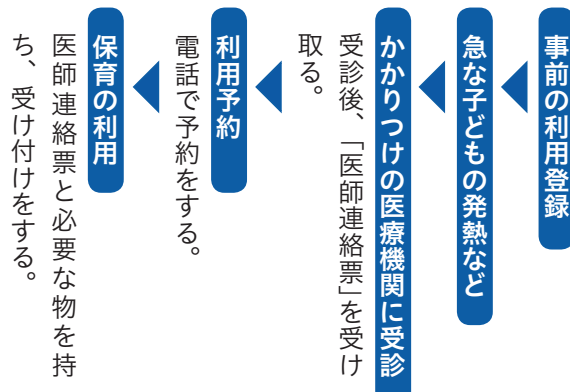
病児・病後児保育施設を利用するには、事前の利用登録が必要となります。これは、子どもの持病や健康状態を事前に把握し、安全な保育を行うためのものです。

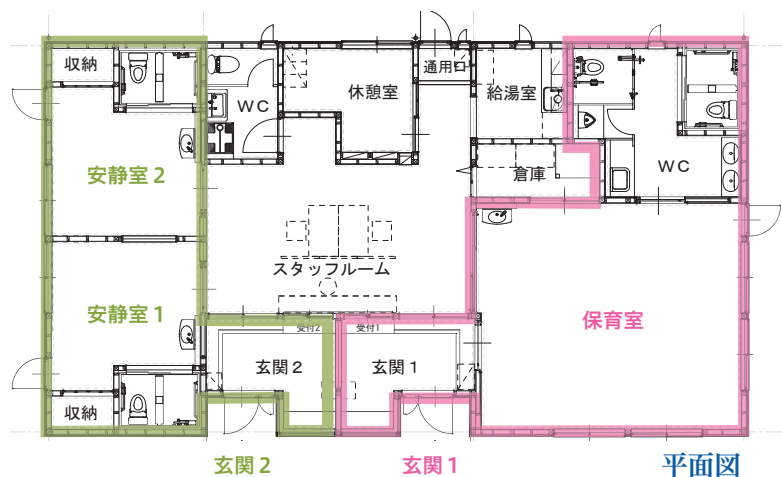
利用を希望する方は、事前に所定の様式に必要事項を記入の上、東海村病児・病後児保育施設に提出してください。

※事前の利用登録の開始は平成31年4月を予定しています。詳細は、広報とうかい(平成31年3月10日号)でお知らせする予定です。

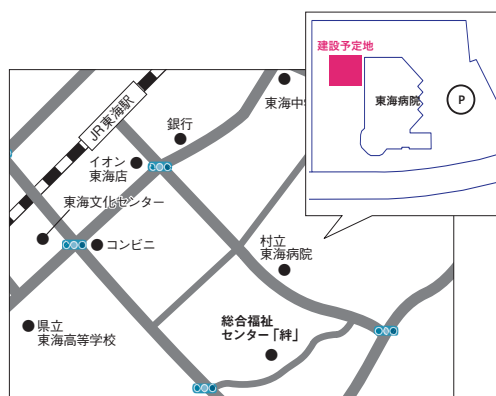
病児・病後児保育施設の利用の流れ

利用の流れ(イメージ)





来年5月の利用開始に向けて、工事を進めています



東海村病児・病後児保育施設は村立東海病院の敷地内に建設し、平成31年5月の利用開始を予定しています。

建物の構造は、大きく2つに分かれています(平面図参照)。感染症以外のお子さんは、玄関1から入り、主に保育室で過ごします。感染症のお子さんは、基本的には玄関2から入り、病状によって安静室1または2で過ごすことで、他のお子さんへの二次感染の防止に配慮します。各安静室には、それぞれトイレとユニットシャワーがあります。

子育て世代に聞きました

in 大空マルシェ

- このような施設があると、これからは少し安心して子育てができるようになると思いますね。
- 保育園に通う子どもが急に発熱すると、私が迎えに行き仕事を手伝っています。平日、少しの時間でも預かってもらえると助かります。



- 夫婦とも他県から引っ越してきました。近くには親戚もいないので、病児・病後児保育施設があると安心できますね。
- 子どもが3人います。1人が風邪をひくと、その子にかかりきりになります。どうしても外せない仕事もあるし、病児・病後児保育施設があると、もしもの時に頼りにできて良いかもしれません。

